

# ヤマシンフィルタ株式会社 決算説明会

2015年8月4日  
<証券コード6240>

<b>2016年3月期 第1四半期決算報告</b>	<b>P.3</b>
I. はじめに	P. 4
II. 2016年3月期 第1四半期 実績	P. 8
市場概況	P. 17
業績予想	P. 21

# 2016年3月期 第1四半期 決算報告

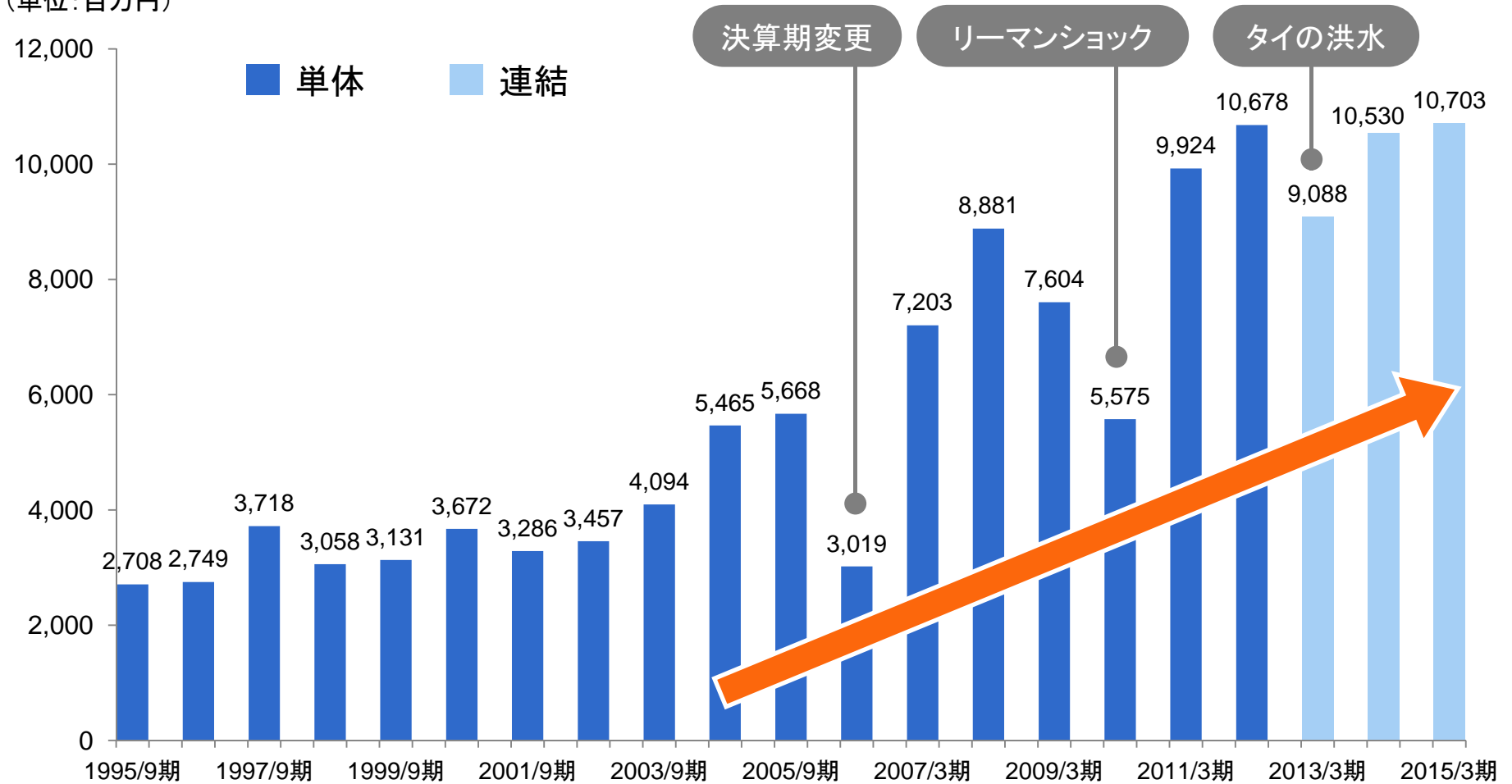
# I .はじめに

# ヤマシンフィルタについて① これまでの売上高推移



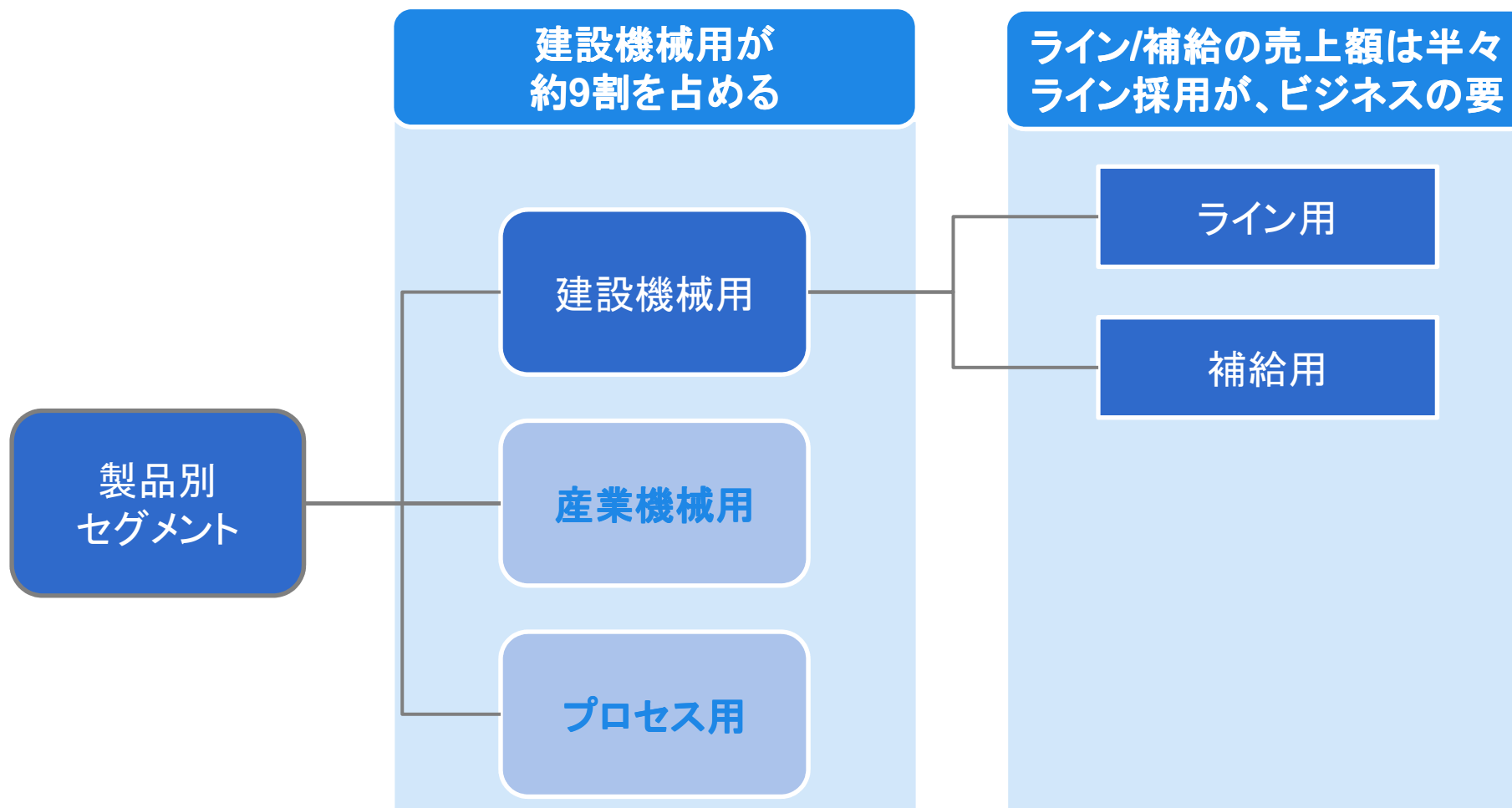
■ “躍進の10年” 2002年以降、新興国の需要を取り込み、連結売上高は100億円を突破

(単位:百万円)



## ヤマシンフィルタについて② 売上高の構成

- 建設機械用フィルタを中心に、ライン用と補給用の“両輪”で顧客基盤を構築



# 決算の概要

- 15.3期は、期初計画の下方修正があったものの、前期比増収増益を確保
- 16.3期1Qは、中国市場の低迷を要因として、前期比減収減益となった
- 16.3期は、新規ライン品の投入、補給品の販売強化により、前期比6%増収を目指す

## 15.3期実績

中国市場減速傾向の中、排ガス規制の駆け込み需要により増収増益達成

## 16.3期1Q実績

中国市場の低迷により減収減益となった

## 16.3期計画

市場環境は厳しいが、新規ライン品や補給品の販売強化で増収目指す

2016.3期 1Q時点での業績見通しは変更なし

## Ⅱ .2016年3月期 第1四半期 実績



# 決算サマリー



- 前期は排ガス規制前の駆け込み需要があった事、当期は中国経済の影響による売上高の減少により減収減益

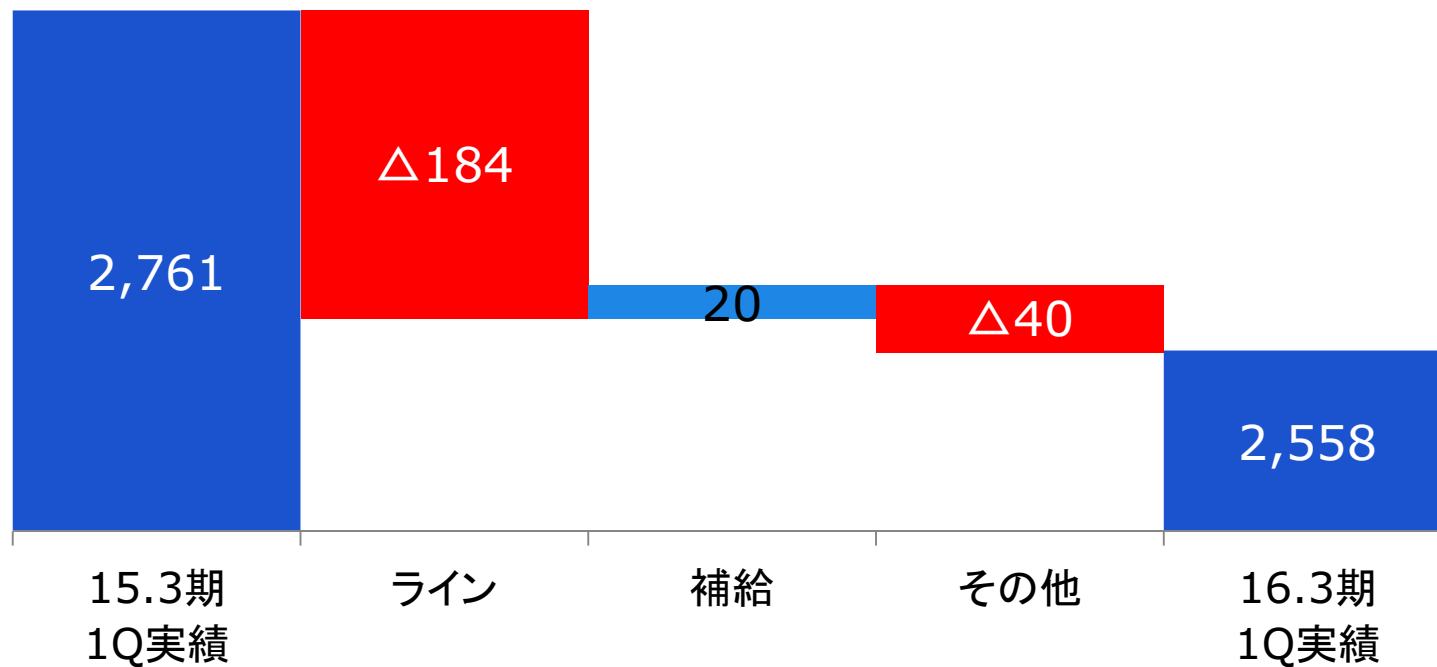
	2015/3期 第1四半期	2016/3期 第1四半期	2016/3期 第1四半期	前期比増減	
	実績	計画	実績	金額	%
(単位:百万円)					
売上高	2,761	2,768	2,558	△ 202	△ 7.3%
営業利益	341	144	88	△ 253	△ 74.2%
当期純利益	217	82	64	△ 152	△ 70.3%
ROE (%)※	17.5%	5.2%	4.1%	-	-

※ROE: 四半期利益を年間利益に調整した値を使用しております。

# 売上高の増減要因分析

- 補給品販売は堅調であるが、中国経済の落ち込みによりライン品販売が大幅減少

(単位:百万円)

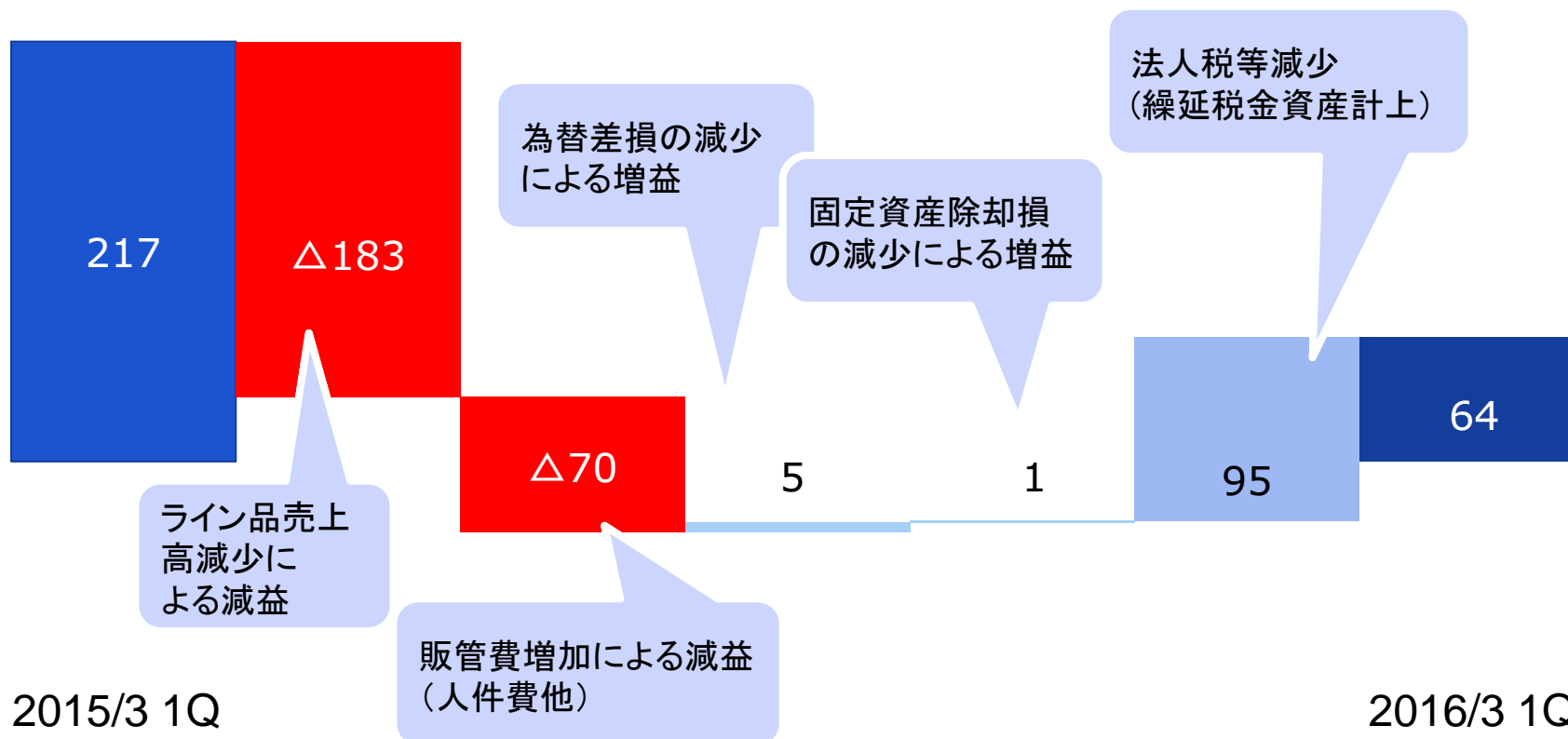


※その他の項目には、会計上の期ずれ調整の金額が含まれております。

# 当期純利益の増減要因

- 当期純利益は、売上高減少を主要因に前期比 70.3%の減益

(単位: 百万円)



# 製品別売上高

- 補給品販売は堅調であるが、中国経済の落ち込みによりライン品販売が大幅減少

(単位:百万円)	2015/3期 第1四半期	2016/3期 第1四半期	2016/3期 第1四半期	前期比増減	
	実績	計画	実績	金額	%
建機用フィルタ	2,398	2,528	2,235	△ 163	△ 6.8%
ライン品	1,145	1,223	961	△ 184	△ 16.1%
補給品	1,253	1,304	1,273	20	1.6%
その他 ※	363	240	323	△ 40	△ 10.9%
売上高合計	2,761	2,768	2,558	△ 202	△ 7.3%

※その他: 連結調整項目、産業・プロセス製品売上高が含まれております。

# 地域別売上高

- 北米、欧州向けは堅調に推移するも、アジア向けは大幅減少

(単位:百万円)	2015/3期 第1四半期		2016/3期 第1四半期		前年同期比	
	金額	%	金額	%	金額	%
国内	1,395	50.5%	1,309	51.2%	△ 85	△ 6.2%
アジア	633	23.0%	401	15.7%	△ 232	△ 36.7%
北米	427	15.5%	506	19.8%	78	18.4%
欧州	265	9.6%	299	11.7%	34	13.1%
その他(中東他)	39	1.4%	41	1.6%	1	5.0%
<b>売上高合計</b>	<b>2,761</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,558</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 202</b>	<b>△ 7.3%</b>

※その他:連結調整項目が含まれております。

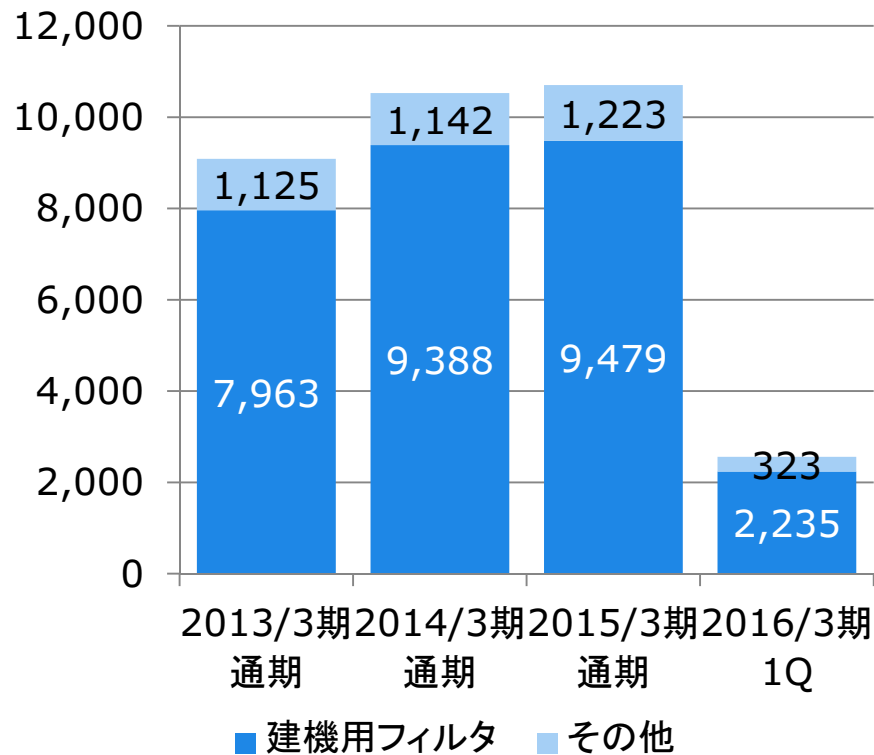
# 売上高 製品別・地域別推移



■ フィルタ製品のラインナップを充実し、建設機械メーカーからの案件拡大を実現

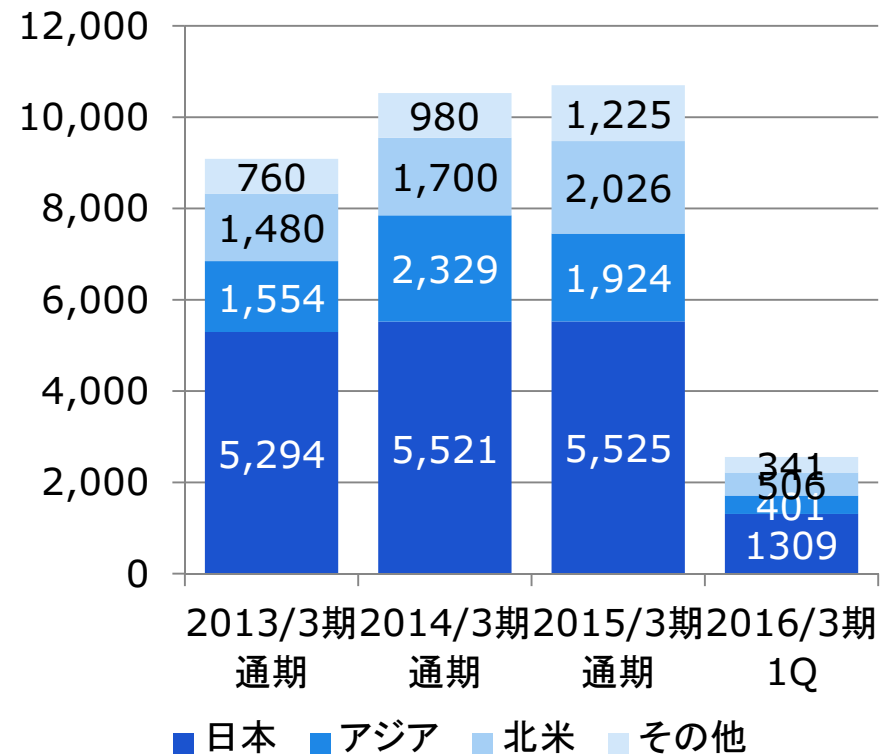
## 製品別売上高推移

(単位:百万円)



## 地域別売上高推移

(単位:百万円)

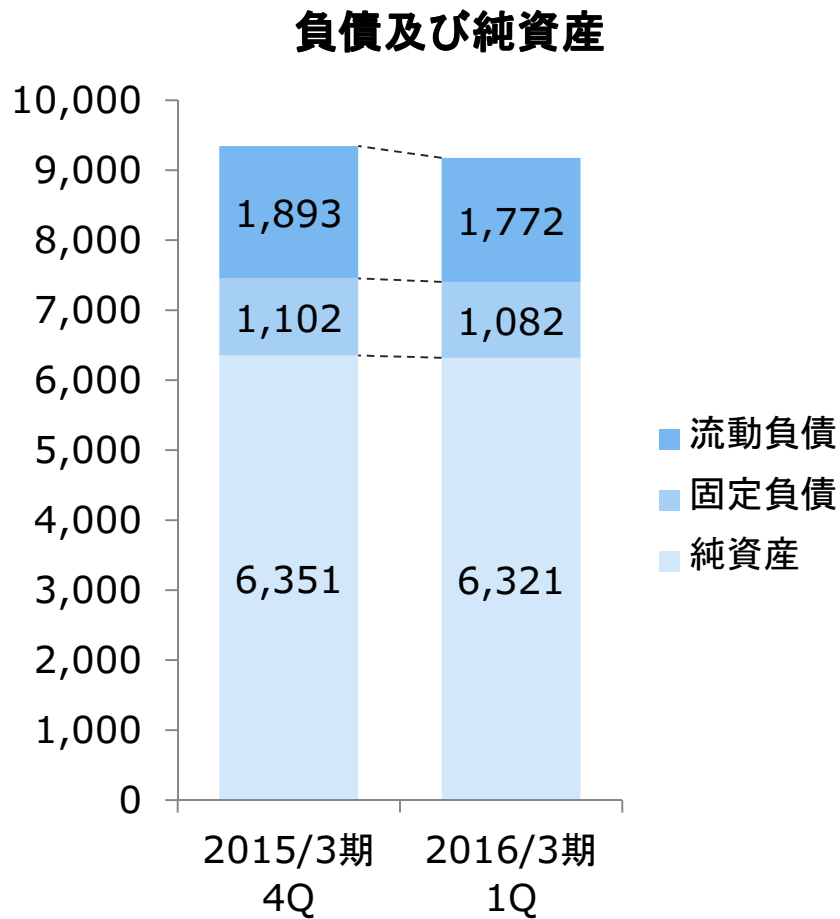
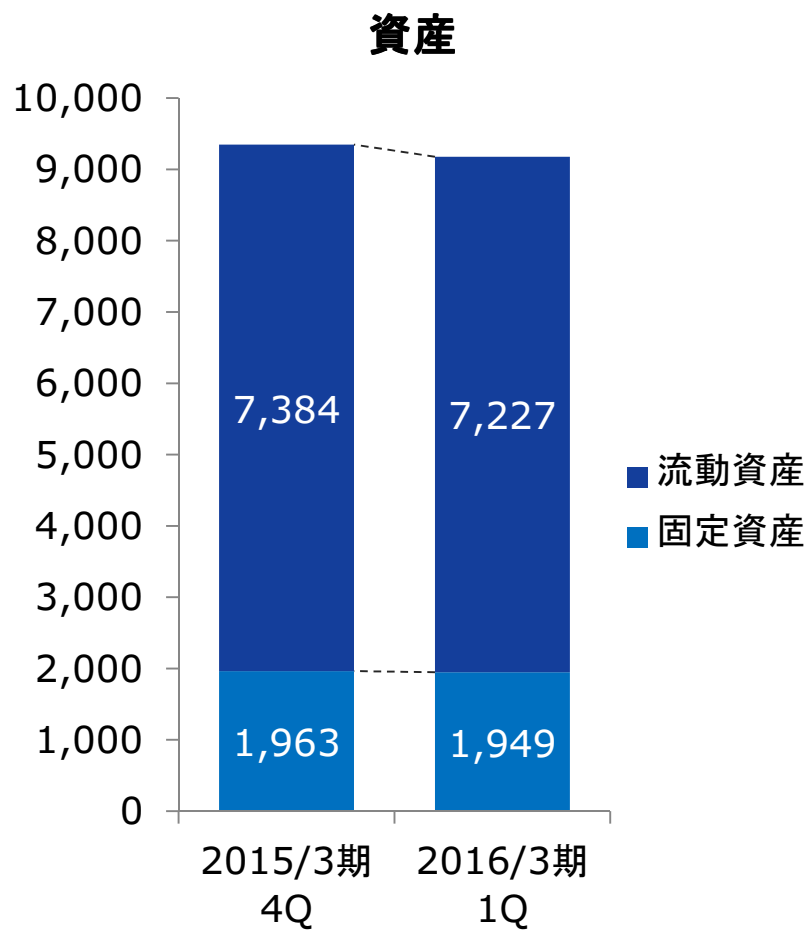


# 前年比 貸借対照表 (要約)



■ 自己資本比率が、1.0P 上昇

(単位: 百万円)

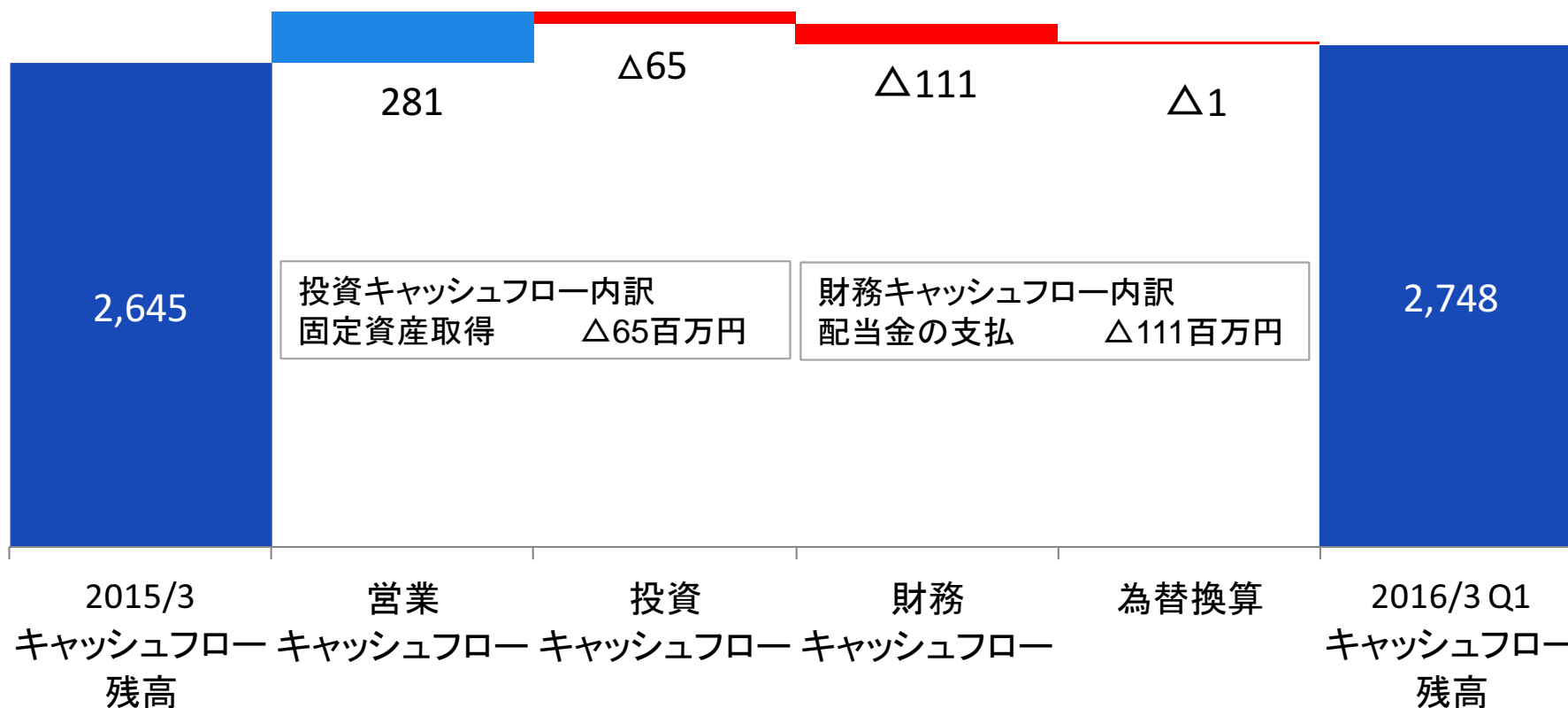


# キャッシュフローの増減要因



- 現金及び現金同等物の残高は前期比で増加

(単位:百万円)





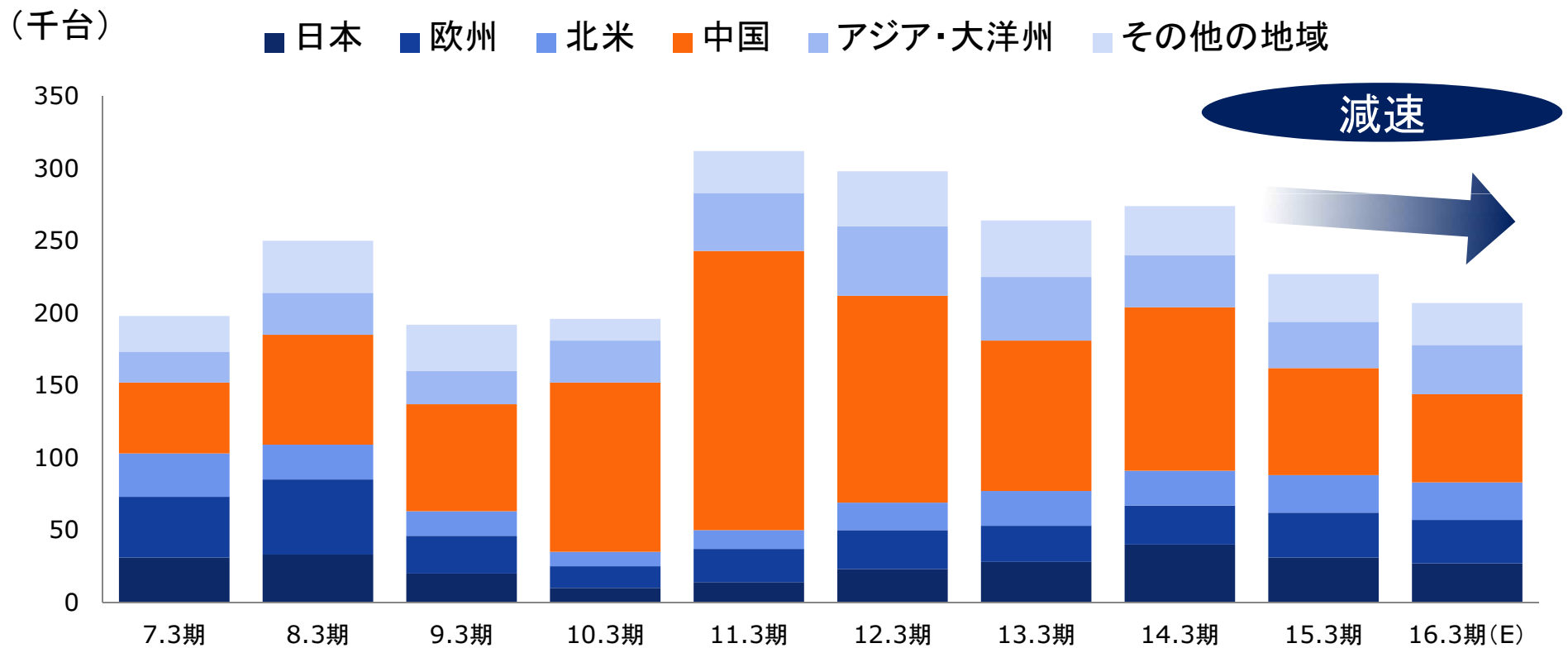
# 市場概況

# 事業環境概略 ~マクロ環境~



■ 中国の経済減速を主要因として、新車需要も減速

## 事業環境の整理/油圧ショベル新車需要推移



(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

# 建設機械市場の状況 ~2016年3月期1Qの振り返り~



- 需要は、北米は前年並み、日本、欧州は減少、アジアは低迷、中国は大幅に減少

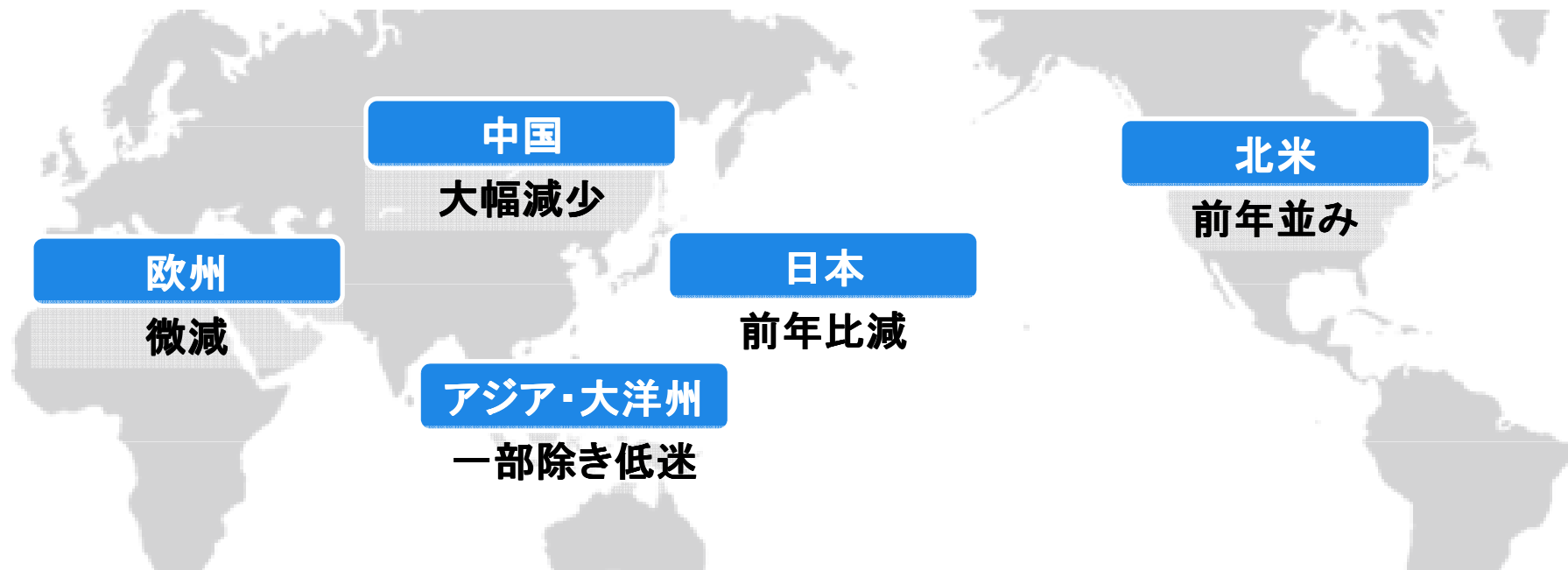
	日本	海外			
		中国	アジア・大洋州	北米	欧州
市場環境	前期需要を下回る	大幅な減少	低迷	堅調 (前年並)	若干減少

- 【日本】 東日本大震災被災地での復興工事等はあったものの、排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動を受け、前期需要を下回る
- 【北米】 住宅関連投資の持ち直しはあるが、インフラ整備減退により需要は前年並み
- 【欧州】 フランスでの住宅着工戸数減少により、需要は低迷
- 【アジア】 一部地域を除き需要は低迷
- 【中国・アジア】 不動産投資の鈍化等により、需要は大幅な減少

# 2016年3月期における市場見通しの前提

- 各市場とも年度末に向け減少傾向となっている

## 市場環境



- 【日本】 公共投資減少、排ガス規制駆け込み需要反動により前年比需要減少
- 【北米】 住宅着工戸数増加するも、インフラ投資減退により前年比並み
- 【欧州】 微減(ギリシャ情勢は不透明)
- 【中国】 不動産投資減少により大幅減少
- 【アジア・大洋州】 インド、タイを除き低迷

# 業績予想

# 2016年3月期 通期業績予想



- 厳しい市場環境の中で、ライン・補給両方の拡販努力により、6%増収を目指す

(単位:百万円)	2015/3期	2016/3期	前期比増減	
	実績	計画	金額	%
売上高	10,703	11,353	650	6.1%
営業利益	869	835	△34	△3.9%
当期純利益	430	540	110	25.6%
ROE (%)	8%	8%	-	-

# 通期売上予想 製品別



- 燃料フィルタやエンジンオイルフィルタ等の、新規ライン品投入を中心に増収を目指す

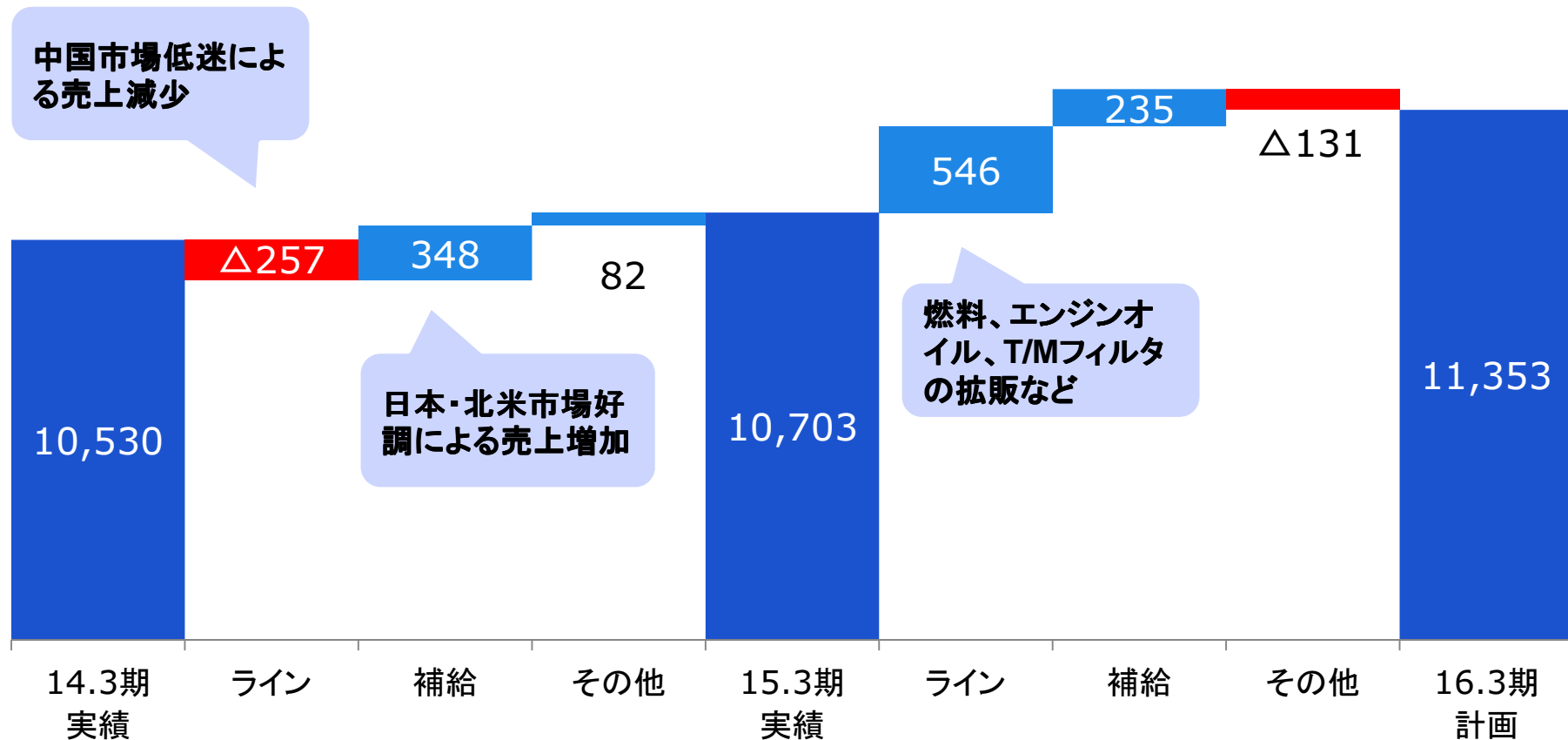
(単位:百万円)	2015/3期	2016/3期	増減	
	実績	計画	金額	%
建機用フィルタ	9,479	10,261	781	8.2%
ライン品	4,329	4,875	546	12.6%
補給品	5,150	5,385	235	4.6%
その他	1,223	1,092	△131	△10.7%
売上高合計	10,703	11,353	650	6.1%

※その他:連結調整項目、産業・プロセス製品売上高が含まれております。

# 売上高の増減要因分析

- 燃料フィルタやエンジンオイルフィルタ等の、新規ライン品投入を中心に増収を目指す

(単位:百万円)



※その他の項目には、会計上の期ずれ調整の金額が含まれております。



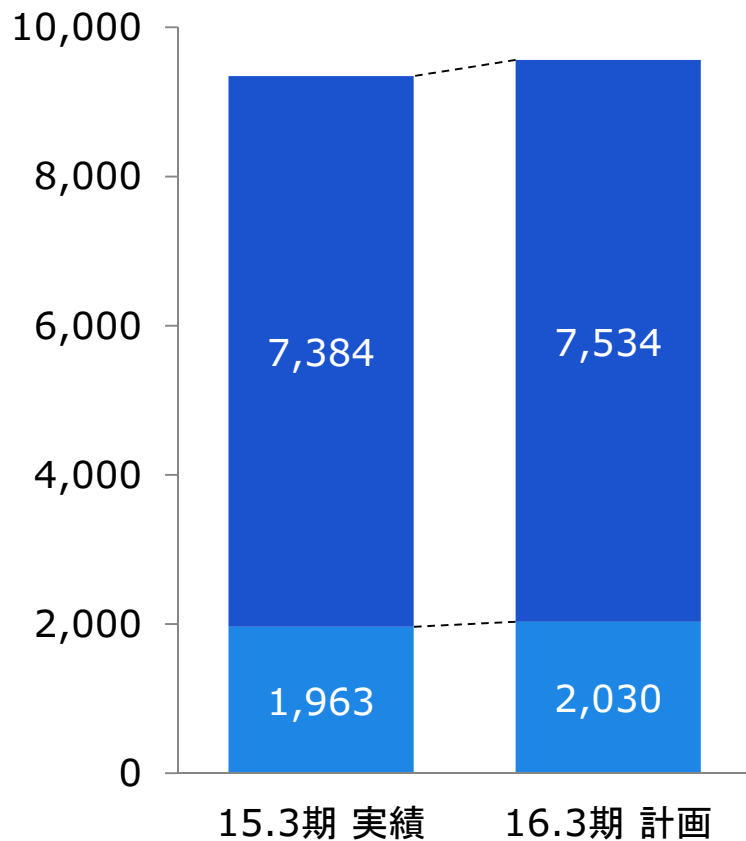
# 比較貸借対照表(要約)



■ 当社株式上場により、時価総額が純資産を超える場面が増えてきている

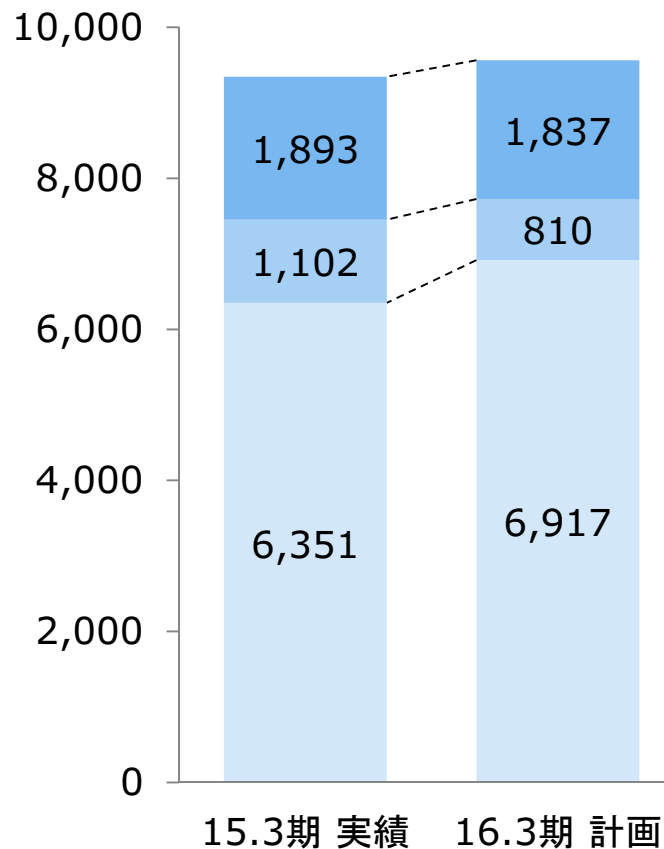
## 資産

■ 固定資産 ■ 流動資産



## 負債及び純資産

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債



(単位:百万円)

### 【参考】

(百万円)	2015/7/30 終値
時価総額	6,847
PBR	1.08倍

- この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります。

この資料に関するお問い合わせは  
ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL(045-680-1671)

E-mail: [ir@yamashin-filter.co.jp](mailto:ir@yamashin-filter.co.jp)